

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月1日

事業所名 En療育ラボ 新宿スタジオ

保護者等数(児童数) 51 回収数 51 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	6%	4%	0%	家ではスペースが取れないためここで活発に動いているため助かっています ・スタジオに4人だとさすがに狭い気がします	4枠の際は外へ行ったり、小集団をするなど工夫しております
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	90%	6%	4%	0%	一対一で対応してくれてありがたいです ・各指導員の専門性が公表されていない	HPの方で各先生の専門性を公表しております
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	90%	6%	4%	0%	車いすが通れるスロープを設けている	引き続き行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	6%	4%	0%	いつもきれいにしてくださるありがとうございます	より快適に過ごせるよう掃除や喚起を心がけていく
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	90%	6%	4%	0%	気づいていないニーズも見つけてくださるのでありがたいです	保護者とのフィードバックの時間で今後の課題などを話し合っている
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	90%	6%	4%	0%	設定されていると思います	設定している
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	90%	6%	4%	0%	個別支援計画を元に療育をしていただいている	行っている
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	90%	6%	4%	0%	・その日々に異なる目標が設定され工夫されていると思う ・工夫されていると思うが同じような内容が続くとあきってしまうと思う	同じ内容が続くことのないよう今度各先生が療育研修を行う予定です
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	30%	0%	30%	40%	分からないです	必要に応じて機会を作っている
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	80%	5%	0%	5%	契約の際に一通り説明を受けた	契約時に説明したが必要に応じて随時説明している
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	90%	6%	4%	0%	定期的に支援計画について簡単な説明を受け、その用紙をもらっている	契約時に説明している
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	84%	3%	3%	10%	・月一回の茶話会がありがたいです。事後にその内容をDMで送ってくださるそこからも学びになる。 ・家庭での過ごし方のアドバイスなど少しあってもいいかも	療育での様子やアドバイスだけでなく、家庭での過ごし方などをよりこまめに深くお伝えしていきます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	90%	6%	4%	0%	プログラム前後の時間で先生と話せる時間がありその際にきちんと伝えあうことが出来ている	フィードバックの際にその日の様子や次回の課題などを話しあっている
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90%	6%	4%	0%	いつも助言をしていただいております	フィードバックの際に家庭での様子を聞いている
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	84%	3%	3%	10%	月に一度茶話会が行われている	引き続き行っていく。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	84%	3	3	10	対応されている	フィードバックの際に親身に聞き、それを元に療育を行っている
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90%	6%	4%	0%	プログラム前後の時間で先生と話せる時間がありその配慮されている	フィードバックの際に行っている
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	84%	3	3	10	・メールに様々な発信があつて分かりやすい ・他事業所と比べると情報量が少ない	情報の伝達方法を増やして行きたいと思います
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	90%	6%	4%	0%	契約の際に説明があつた	一人ひとりが個人情報を慎重に扱うようにしている
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	90%	6%	4%	0%	されていると思います	契約時に説明し、訓練を月一回程度行っている
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	84%	3	3	10	たまに小集団で防災訓練を行っている	月に何度か防災訓練を行っている。避難訓練の研修も行っている。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%	楽しみにしている。通い始めてから運動したり、自分のことを自分でやる意欲が高まった	より楽しめるよう日々研修や療育道具を作成している
	23	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	とても満足しています。いつもありがとうございます。	会議や話す機会を設け、より良い支援になるようにしている
合計数								

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。